東京薬科大学新聞

発行所
東京薬科大学
学生新聞
八王子市堀之内
1432－1
☎0426(76)5111

11月号

学費問題を考える

東薬財政に関心を!!

◈過去九年間の学費を基に◈

今月より前期学生大会でも問題になった学生納付金にスポットを当て、その全ぼうを可能な限り明らかにしていきたい。

表1を見ていただきたい。これは過去九年間の関東私立薬科系大学の学生納付金と消費者物価指数を螢雪時代、朝日年鑑をもとにまとめたものである。まず学生納付金値上げ傾向を分析してみよう。

なんと九年間で東薬の学生納付金は四倍にもなっている。消費者物価指数の二倍増とは大差がある。九年間の間はオイルショックによる狂乱価物もあったが、それにしても東薬の学費値上げは説明がつかないのではないか。つまり物価の上昇の他に大きな原因があるのではないか。例えば、東薬校舎移転問題もからんでくるのではないだろうか。

さて東薬の財政はいったいどんなものがあるのか当然疑問となってくるであろう。次にその収入について考えてみよう。

過去9年間の関東各校の校納金　表1

昭和	昭和薬大	東理大(薬)	星薬大	明薬大	共立薬大	東薬大	消費者物価指数
(単位千円)							
48	413	260	277	400	384	310	100
49	434	260	328	460	464	311	124.3
50	621	452	338	550	654	333	139.1
51	701	532	548	554	784	633	152.0
52	859	570	655	600	806	664	164.3
53	1197	656	655	800	956	1014	170.5
54	1318	722	917	1105	1076	1015	176.6
55	2838	799	1217	1253	1300	1165	190.7
56	2838	838	1317	1350	1456	1216	201.3

東薬の収入は、学生納付金寄附金、国庫補助金の三本柱から成り立っている。そこで下表2五十四年から五十六年度の収入の推移を見てみるとa収入は年々増えている。b寄附金の収入全体に対するパーセンテージは毎年ほぼ変らない。c補助金のパーセンテージ低下に対し学生納付金のパーセンテージが上昇している。ということがわかる。そして特にcは重大なことであろう。昨年の東薬の収入は二十八億八千八十二万円、その六十五パーセントが学生納付金で占められており、その割り合いは、来年も政府の補助金見直しの政策と関連して増加するであろう。

もちろん、補助金も金額としては増加しているものの学生納付金の増加率に追いつかないのが現状である。

以上のことから新聞会では、私学助成のすえ置きの問題や支出の問題、校舎移転と学費値上げの関連性や、学費のスライド制について、詳しく取りあげて解明していきたいと思う。

とかく学生納付金は親が払うものと無関心でいる人が多いのではないだろうか。大変な金額を毎年納付しているわけであるから私達学生がもっと関心を持つべき問題ではないだろうか。また表1を見て確かに東薬のみが値上げしているわけではないが薬科系大学全体の傾向として見のがせない事実ではなかろうか。

（特集号に続く）

表2

年度	54年(79)	55年(80)	56年(81)
学生等納付金	1,258,018 (60,1%)	1,524,334 (63,5%)	1,877,134 (65,2%)
寄付金	172,211 (8 2%)	199,429 (8,3%)	256,710 (8,9%)
補助金	664,297 (31,7%)	677,209 (28 2%)	746,973 (25 9%)
計	2,094,521 (100%)	2,400,969 (100%)	2,880,817 (100%)

自治委員会発足

去る十月二十一日木曜に第一回自治委員会が開かれた。

今年にはいり、何度か執行委員長により招集されたが、定足数に満たないため流会となっていた。

ここ数年来、自治委員会の活動は低迷し続けている。安易に断定を下すことはできないが、その原因は、学生自治会への関心の薄さにあったのではないか

今回の自治委員会発足にあたって山懸執行委員長は、「ここ数年 自治委員会の活動は 委員会を開いても委員が集まらないなどの理由から低迷を続けてきました。前期学生大会において、自治委員会についての議論が活発にされたことなどから自治委員会に対する学生の認識が高まってきたようです。これは大変喜ばしいことだと思っています。これからいろいろと大変だとは思いますが、学生の意見を反映すべく、がんばってほしいと思います」と今後の活動に大きな期待を寄せている。

第一回自治委員会では議長団の選出が行なわれた。議長に安部武徳 副議長に佐藤秀郎、丸山浩子、書記には須藤京子、田中久美子、会計に福田奈緒美と決定。議長の安部氏は「前回学生大会で問題になった自治委員会の開会について、しかも一年生から指適されたことについて僕達はこれを恥ずべきことと受けとめ、自治委員会の再建をめざして、努力することを全学生に誓い、協力を求め来年度の新入生にも歴然とした自治会を示したいと思います。皆さんの協力を請います。」と語った。

続いて十月二十八日(木)に第二回が、十一月四日(木)に第三回が開かれた。自治委員会では、新歓祭委員の承認、東薬祭へのクラス参加の費用、分科問題等について話し合われている。

敬称略

倉庫移転完了

部室棟の倉庫が移転され部室になることは、5月21日発行の号外でお伝えしたが現在はどのような状態なのか。四つの倉庫のうち美術部の倉庫はそのまま残され、学術クラブの実習器具や、体育祭用具の収納されていた残り3つの倉庫のうち、2つは学術部門と執行部の手で移転が大体完了されており、残る一室は体育祭の用具がはいっている。しかし、まだ部室として使用できるまでには至っていない。この対応の遅れに関して執行委員長山懸氏は、新設の倉庫の中に、何を収納するか、また、整理のしかたなどについて、種々の問題があり、各部門との話し合いも中中はかどらなかったことを理由にあげ、また学術の展示用のボードや脚などは、東薬祭が終了するまでは、出しても収納する場所がないので、東薬祭終了時にその対応策を考えるとのことである。なお、空いた倉庫については、アーチェリー同好会と、水泳同好会が、落研、生体研のどちらかと同室し二つを使用、文化部門が一室を使用する他はまだ決定されてない。執行委員長山懸氏は、後期学生大会までには終了したいと述べている。

野沢スキースクール

ワンゲル主催のスキースクールも今回で26回目になり、初心者の方にも現地のプロコーチにより安心してスキーが楽しめると毎年好評を博しています。充実したお正月を白銀の野沢温泉で過ごしてみませんか。スキーだけではなく色々なアトラクションも用意されており、多くの友達を作る機会にも恵まれるはずです。是非とも多数の参加をお待ちいたしております。

期日　一月三日　七日
場所　野沢温泉スキー場
宿泊　常盤屋旅館
費用　二万五千円
定員　百名（男女各五十名）

お早めにお申し込み下さい。詳細は、ワンゲル部室（部室棟 F左手奥）まで。

薬味

日曜6時半、テレビ朝日で放送されていた、報道特集という番組をご存じでしょうか。筑紫哲也氏がキャスターを務め4年間続いたこの番組が9月26日で終了した。彼は今、朝日新聞の論説委員だが4年間を振り返って、彼が新聞記者の目を持って見続けてきた日本の印象を語った。日本は急激に高度成長したことを、自分達の力だけであると思い込み、他国の状勢などを無視した行動をとり、世界から孤立しようとしているという。IBMのスパイ事件にしても相手側の捜査の仕方などを問題にするばかりで、自分らの否を中々認めようとしない。それはまるで白雪姫のお妃の様で、鏡に呼びかけて、自分が一番美しくないと気が済まない。そのくせボランティア活動などには、ひどく消極的で、それに関しても他国から批難を受け続けている。傘がない〃の歌のごとく都会で自殺する若者が増えていることより、彼女に会いにいく傘がないことのほうが大切な問題となってしまうのが悲しくも一般的な現実である。しかし、それでいいのか？

学生大会を振り返って

執行委員長　山縣昌彦

本年度前期学生大会を振り返ってみて、反省ということですが、この紙面をお借りして後期学生大会に向けて、学生の皆さんに対してお願いがてら学生大会についての感想を述べてみたいと思います。

まず第一に感じた事は、私たち執行委員会の運営や私の回答の仕方にも問題があるとは思いますが、一つの議題に対して同じ様な質問が繰り返し出されて、議事の進行が遅れることがたびたびありました。私達としても議事の進め方を工夫したり、理解しやすいように回答の仕方を改善していくつもりですが、学生の皆さんもよく注意して聞いてなるべく同じような質問はしないようにしていただきたいと思います。第二に感じた事は、どの議題についても同じような人たちからしか質問が出てこないことです。しかし学生大会であつかっている議題は、学生の皆さんひとりひとりに関わる事ですから、学生大会前に議案書をよく読んでいただき、議題について考えて学生大会に臨んでいただきたいと思います。なお、議案書は学生大会の一週間前より配布しますので、自治会室までいらしていただければ差し上げます。

最後になりますが、前期学生大会では開始前から多くの方に集まっていただきましたが、どうもありがとうございました。前期学生大会よりも良いものにしていきたいと思いますので、御意見などありましたら、自治会室までいらして下さい。

アンケート集計より

この程、行なったアンケートの集計によると今年度前期学生大会の出席者中、学生大会の内容に興味が持てたと答えた人は、その約二割にとどまった。現実に、八割弱の出席者がなんらの興味もなくただ腰を下ろしているだけだとしたら、それは学生大会、ひいては自治会自体の存続問題にもなりかねない。しかし、クラブ予算獲得に絡む思惑を考慮すれば、楽観的に過ぎるかもしれないがその点を過大視して必要以上に騒ぎ立てることはないように思われる。それにしても、学生大会に対する学生間の不人気には根深いものがあることに疑いの余地はない。アンケートの解答者は、その多くが議事進行の不手際について、かなり辛らつな批判をよせている。確かに、今回の学生大会の運営、進行にはまったく穴が無かったとは、どう善意に解しても言い難い。しかし、だからといって、ただいたずらに執行サイドの手落ちを責めることは許されていいものではない。そこにはそれなりの原因が存在していたのである。

学生大会はなるほど東京薬科大学学生自治会の最高議決機関なわけだが、学生一人一人の意見を一一聞いて詳細な事項について論議すべき場では本来ないはずである。では少数意見がまったく省みられないかというとそれには当たらない。それらは下部組織である、自治委員会、学級大会で十分に話し合い煮詰めるべきなのである。ところが現在では、自治委員会は事実上存在せず、学級大会は開かれたためしがない。そのため今回の学生大会では、議案は手続き上自治委員会の承認即ちそこで十分に論議が尽くされることが不可欠なのだが、それがないままで出されたのだ。

そして、特別小委員会細則の制定などについては、事前に提出されてしかるべき改正案が学生大会当日に出されたり的外れともいえる議論まで醸し出して、あれほどまでに紛糾したのである。（注、改正案については、議論の余地があるかもしれないが。規約第十一条の学生大会の議事日程その他必要な事項とみなされ一週間前に提出されることが要求される。）ここでネックになっている自治委員会の招集に関して執行委員長の責任が問われるわけだが、この問題は一面の関連記事にゆずるとする。ここでは後期学生大会へのアプローチとして自治委員会の発足の重要性を強調しておこう。

ブックコーナー

戦士の挽歌（バラード）

大蔵春彦

いかにも仰々しい題名だけど「汚れた英雄」だとか平気で付けちゃうんだな大蔵さんは。ある評論家が彼の一連の超ワンパターン小説群を評して「彼の小説から自動車と銃を取除いたら何んにも残りゃせんよ。」といっている。まったくうがった批評だとひそかにうなずくしだいなんだけど、根の暗いミーハー群団、大蔵ファンにはそのワンパターンがたまらないらしい。ほとんど病気だな。ところで、なんでこの本を取り上げたかというとちゃんと理由があるんだよね。題にもある戦士というのが当然、主人公でことなんだけど、その職業がなんと"プロバー"なんだよな。当節、本は馬に食わせるくらいあるが、プロバーが出てくるのなんてそうざらにないからね。薬のセールスマンをわざわざもったいぶってプロパガンダなんて言うのか知らんけど、薬大生にはあんましありがたくない言葉だなァ。なんだか人生の悲哀というか、重みをズシッと感じさせるとは思いません？異常かな。それはいいとして、我らがプロバー士の販売区域が八王子近辺なんだよね。こうなると他人事とは思えない。特に〝野猿街道〟なんてのが活字になってるのを見たら、見捨てられた陸の孤島〟由木〟の下宿生なんかは感激のあまり泣いちゃうんじゃないかね。こうまでなったら、話の筋にこだわる必要はないんだけど、一通りストーリーを紹介するね。

我らがプロバー氏、ずう体はデカイが日頃は調子のいいどますり屋なんだけど、これがどうして羊の皮をかぶった狼なんですよ。あちらの病院で怪しげな健康ドリンクを配り歩いては愛きょうを振りまく傍ら、悪徳医者を締め上げてリベートをピンはねしたりする。不正のうず巻く医・薬業界を舞台に話しは進む。佳境に入って、暴力団とはひっつくはで乱診乱療の限りを尽くす大病院に、マシンガンやらバズーカ砲まで持って乗り込んでブッつぶしてしまう。こうなるといささか開いた口がふさがらないが、それなりに面白かったりする。

スポーツコレクション〝アーチェリー〟

スポーツの秋たけなわ。ちょっと趣向を変えて、アーチェリーで貴族的ふん囲気を味わってみませんか。

今、日本には約五十万人のアーチェリー人口があり、静かなブームになっています。

アーチェリーは、格好でするもの。外見をビシッと決めなくてはなりません。老婆心ながら、ナウイギャルはとかくかっこいい人に引かれるものです。しかし、フル装備ウン十万円の器具ともなると、貧乏学生の手は届きそうもありません。でも心配は無用、レンタルにすれば、三千円くらいで済ませることが出来ます。近くには、高尾山フィールドコース等があり、自然に囲まれて一日、アーチェリーを楽しめます。

アーチェリーの利点は、自分の力に合わせて器具を選べるから、老若男女誰にでも簡単に出来ることです。ルールは至って簡単、一日あればどんなぶきっちょでも一人前になれます。アーチェリーの矢は十m前のフライパンを貫通するほどの威力があり殺傷能力は十分です。ですから、アーチャーは礼儀をわきまえ、規則を遵守しなければなりません。さもないと非常に危険です。ですが、ルールさえ守ればこれほど安全なスポーツはありません。

五十m離れた的に矢が当たる快感はやった人にしか分からないものです。是非、この秋チャレンジしてみてください。子細は、アーチェリー同好会、代表3Ya、大橋哲也。

富士銀行キャッシュサービス開設

遂にと言うか、漸くと言うか、十一月九日、教育棟入口ロビーにキャッシュサービスコーナーが開設された。正式名称は富士銀行東京薬科大学出張所。営業時間は、平日、午前十時から午後五時。土曜日午前十時から午後二時の間である。

当紙でも、七月下旬に開設予定の記事を掲載したが、この様に大幅に遅れてしまったことについて、法人室の係の方は次のように語った。まず手続き上銀行と同じ取り扱いになり、大蔵省関係の許可が必要であった。工事中の騒音を考慮すると、どうしても取り付け期間が限られてしまった。そして最大の理由は、最新コンピューター導入の小型機器を取り付けたいと、開発期間中待っていたためであった。遅れてしまったが学生達にも納得してもらいたいとのことであった。

さて、最新機器についてだが、五時になると自動的にロックが掛かり扉が閉まる仕掛けで、閉じ込められたりしないかしらと心配する方があるかもしれないが、その点の安全性は万全ということだ。

なお、イタズラや故障のことが気になるが、もし何か問題が起こった時は、法人室が銀行との窓口だとのこと。（法人室は、図書館棟受け付け奥にある。）

法人室の係の方は、これで学生の時間と交通費等のお金を節約出来るでしょう、是非ともサイフの様にして使って欲しい。ただあまり無駄使いはしないように注意して下さい、との言葉も忘れずに付け加えてくれた。

編集後記

今回、初めてタイプ文字を用いた新聞を発行します。なんせ文字数が倍以上に増えた上にたったの三人しか和文タイプを打てないという現状のため、なんと編集に三週間もかかってしまいました。しかし、今後はなるべくタイプ文字を使って、みなさんに親しんで読んでいただけるような新聞を作っていきたいと考えています。

新聞会への御意見、御希望は、Gホール正面の新聞会投稿箱（青ポスト）へどうぞ。